

学位被授与者氏名	藤勝 美代子 (ふじかつ みよこ)
論文題目	Ma Joad と小林セキ 一ふたりの母の愛と苦悩
論文審査結果の要旨	<p> スタインベックと小林多喜二の比較研究に関しては、すでに複数の先行研究がなされており、必ずしも目新しい着眼点ではない。しかしながら、親子関係に特化した比較は新機軸である。さらに、全く異なった印象を与えるトムと多喜二の母子関係が、実は、極めて類似した形で武士道の理念と関連している事実、母子間の絆の強弱が、武士道の理念の濃淡と相関関係を形成していることを詳細な作品分析を通して説得力を伴う形で論証することに成功している。結果的に、武士道の理念が有する普遍性を論証できた点は評価できる。その一方で、以上の考察に紙数を大幅に費やしたため、当初予定していた、共にストライキを指導するに至った多喜二とトムの行動が、親子関係の特性とどのように絡み合っているかに関する考察には至らなかった。そのため、武士道精神と親子関係の相互関係の論証のみに論文は終始しており、論考の発展性の点で不十分な結果となった。また、スタインベックの東洋思想への傾倒に関しては論じられているが、スタインベックと武士道の関係については論じられていない。以上の諸点を勘案して、本論文はB評価とする。 </p> <p> 平成 28 年 2 月 22 日に、北九州市立大学北方キャンパス本館 E-313 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(英米言語文化)として十分な内容であると判定した。 </p>